武　一　中

平成３０年４月１２日
武蔵野市立第一中学校

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

学校だより３０－１号

自　律

校長　　若槻　善隆

89 名の新入生を迎え、9 学級、生徒数 267 名で平成 30 年度がスタートしました。

先日行われた入学式では、担任の呼名に大きな声で返事をする新入生の姿は大変立派でした。また、新入生を迎える上級生の態度も立派で、厳粛な中にも温かみあふれる「まじめはかっこいい」一中らしい入学式になりました。今年度も素晴らしい一年になりそうです。

さて、私は、入学式の校長式辞の中で、新入生に三年間で身につけてほしい「自律」の話をしました。一中の校歌の一部ですから、2,3 年生にもぜひ考え、身に付けてほしいので、次にその要点を書いておきます。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

中学校生活の三年間の中でしっかり考えて、身に付けてことをお話ししたいと思います。それは、第一中学校の校歌の中にもある「自律」ということです。「じりつ」には二通りあります。一つは「自立」、そしてもう一つは「自律」です。皆さんに身につけてほしい「じりつ」は、もちろん校歌の中にある「自律」です。

伊吹有喜さんの小説に「なでし子物語」という小説があります。その中に、いじめに遭って学校に通えていない子に家庭教師の先生が語る場面があります。それは

「自立は自分の力で立つこと。うつむかずに顔を上げて生きるということ。自律は自ら律すること、美しく生きるということ。でもこれはちょっと難しい。大人と子どもでは意味が違ってくる。」

「大人は何でも自由にできるから、自分の中に基準をもたなければいけない。これだけはやらない、これだけは必ず守るという取り決めを。それが自分を律していくこと。でもそれは大人になってからの話」

「(子どもの) 自律とは、新しい自分をつくること。自分の手で、自分という楽器の音色をつくること。ご飯を食べるのも勉強するのも、運動するのも遊ぶのもすべて、なりたい自分をつくりたいための手段。どんな大人になりたいか。どんな新しい自分になりたいか、自分で選んで進んでいくことがとても大事。」

というくだりがあります。

「自立」は「顔を上げて生きること。」これは容易にできます。しかし、「自律」は「美しく生きること、新しい自分をつくること。」こちらの方は、意識していかないと達成することはできません。

皆さんは、これから始まる中学校の三年間で大人に近づいていくことになります。校歌は「自律」ですから、まずは「新しい自分をつくる」「美しく生きる」努力をしてください。そして、中学校を卒業するころには、「自分の中に基準をもって、自分を律すること」ができる大人になってほしいと思っています。「自律」をしっかり意識しながら、充実した中学校生活を送ることを期待しています。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

保護者の皆様、地域の皆様とともに手を携え、知恵を「寄せ合い」ながら、子供たちの「知力・体力・人間力」をしっかり伸ばしていきたいと思っています。一年間、本校の教育活動にご理解とご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。